

和歌山大学経済学部とつばさプロジェクトの連携により体験型観光に取り組む

< 和歌山県 >

市町村・集落の名称	やすらぎの里西川協議会
協働の相手（企業や大学等）の名称	和歌山大学経済学部・つばさプロジェクト
仲介者・コーディネーターの名称	和歌山大学経済学部（大澤先生） つばさプロジェクト（越道正芳）
協働のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の意識醸成のための活動 ・ 自主運営を目指した取り組み
協働のきっかけ ・経緯	和歌山大学とは平井のゆず収穫の手伝いをはじめとして、古座川町へは、10年以上学生ゼミの旅行や個人的な仕事、体験型観光の取り組みや余暇ナビゲータ事業の展開など、越道氏は、産業振興委員会の研修会講師で来訪するなど以前から付き合いがあった。
取組の具体的な内容	<p>体験型観光の取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．大師山散策ウォーク 2．夕食（地元の食材で料理提供）・地元の人と交流 3．古座川源流トレッキング 4．豊かな自然の中をのんびりと散歩する。 5．放棄ゆず園の収穫体験
農村地域への効果	地域環境保全と農業を中心とした地域活性化
都市部の主体（企業や大学等）への効果	都市住民との交流によって、農山村の良さをPR出来る。
仲介者等の役割	地元と都市住民とのパイプ役
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通認識のもと組織を調整し、あるべき方向へ導く指導者の不在。 ・ 自主的に立ち上げ、自主的に活動してきた団体でなく町の支援により、活動しており自主運営組織への転換が課題。
関連事業（国・都道府県等）	平成21年度 県事業（花の香りの里づくり事業）を受け、地元にある資源を最大限に活かして、所得増大、地域活性化をめざす。

(活動状況写真等)

